

## 蠟梅 Now

5 月にも行われることが現実のものとなりそうな「米朝首脳会談」。核放棄の可能性を示唆するかのような状況下、北朝鮮の不気味ともみえる寡黙には不安を拭き切れないが、日本政府は蚊帳の外に置かれながら事態は粛々と進んでいるかに観える。

会談は成立するのだろうか？不成立に終われば・・・、或いは、成立はしても決裂に終われば・・・、複数の選択肢からの結末は読み難い。仮に非核化合意ができて、多くの合意内容が遂行されることがほとんどなかったこれまでの北の行動から診て、不安と不信は募るばかりである。

核施設等への空爆を前提とした情勢の緊迫、不幸にもこの危ういシナリオが現実味を帯びるかもしれない。好転して、非核化合意にその遂行が伴って、半島の再統一が実現するかもしれないが、果てはその統一国家が波乱要因となって燻ぶることも十分考えられる。

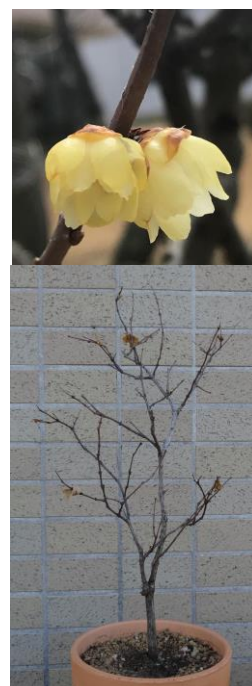
事態の進展に伴って情勢は刻々と変化していくのだろうが、ロシアや中国が絡みながらの展開も考えられ、日本には厳しい現実が待ち受けているかもしれない。米・韓・ロ・中などとの交渉のチャンネルを確実に保持しながら、タイムリーな対応をとることが必須であり、阿ることなくそれに備える姿勢を凜として保っておくことが大事である。

閑話休題。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、04 年に法人を立ち上げた際に、運営の拠り所となる多額のファンドをご寄付戴いた小山様所縁のもの。以来、3 月に入ってからの開花を観たのは、今シーズンが初めてのこと。昨年観た、地球温暖化に依る？酷暑、寒波の影響と考えるのは早計かもしれないが、原因らしきものが他に見当たらない。

この初めての現象に憑かれたかのように、筆者宅の二世が不幸に見舞われたようだ。11 年 11 月の実生による誕生から 7 年目に入っても順調だったのに、新芽が出てこない。二世誕生を手掛けた方に尋ねたところ、もう少し様子を見てはと言われて無為に 1 カ月経過したが、未だ好転の兆しは見られない。何とか持ち直して欲しいものだが、展望が開ける可能性は期待し難いと言わざるを得ない。

最悪の結末に終息しそうだが、さて、採るべき次の手は・・・？



### 《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸  
事務局長 大森 信

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ffk.or.jp

URL : <http://www.npo-ffk.or.jp>